

※ かい答は、《かい答用紙》に書きましよう。

石川さんは、新美南吉の「空気ポンプ」を読み、心に残った場面を、読書集会でしようかいすることにしました。次は、【物語の一部】です。

【この場面までのあらすじ】

自転車のパンク直しをしてみたいと思っていた正九郎は、自転車屋の店主が来るすのときに、友だちの加平といっしょに店番をするチャンスをつかんだ。ふたりでお客さんが来るのを待っていたが、だれも来ず、たいくつしていた。

【物語の一部】

とうとう目的物はやってきた。それは洋服を着て皮のかばんを持ったどこかのおじさんであった。彼はパンクした自転車を日よけの下に立てておいて、汗をふきながら店に入ってきた。

「おい、坊！ 家の者いないか。」

おじさんは、ふたりを自転車屋の子とまちがえたのである。こいつはふたりにとつてちようどよいのである。

「ンにや。ンでもおれたちだつて直せる。」と加平がいった。

なお よいことに、おじさんはくたびれていたと見え、ふたりに自転車をまかせたきり、上がりがまちにあおむけにねころんで目をとじてしまったのである。だれにも見られていない方が仕事はしやすいし、またそれだけ楽しめる。ひとりで食べる方がごちそうがうまいのと同じことである。

ふたりはわくわくして、パンク直しに取りかかった。まったくゆめのような気持ちだ。自転車を直したことの無い人には、とてもわからないだろう。タイヤをはずして、チューブに空気を入れて、赤ん坊のうでのようにやわらかくふくれたチューブを水にくぐらせて穴の場所をさがす。プクプクプクと小さいあわの出るところが見つかる。これだ！ よく切れる長いはさみで、つぎにあてるゴムをジョッキョキと切る。はじめはカードのように四角にきって、次に角をまるくする。それから人さし指をゴムのりの かんの中につっこんで、どろりとした よいにおいのするやつをつぎのゴムとチューブの穴のある個所にぬらぬらとぬる。ああ、こんな気持ちのよいことがまたとあるものではない！

※1 上がりがまちⅡげんかんにある、横にわたした木。「あがりかまち」とも言う。

※2 つぎⅡ穴の開いたところにつけて直すもの。

— 石川さんは、【物語の一部】の中の  の部分を音読したあと、この場面の魅力を【しょうかい】することになりました。

## 【しょうかい】



ぼくがこの場面をしょうかいしたいと思ったのは、パンク直しができることへの二人の①②が伝わってきたからです。

この場面では、パンクを直す手順がとてもくわしく書かれています。パンクを直したことがないぼくでも、どうやって直すのかが分かります。

くわしいだけではなく、表現も工夫しています。②「気持ち」という表現は、「現実とは思えない」という意味を表しています。

また、「赤ん坊のうでのように」という表現は、赤ちゃんのうでをさわったことがなくても、チューブがとてもやわらかいということが自然に伝わってくると思います。思わず、さわってみたいと思わせる表現です。

さらに、「プクプクプク」「ジヨキジヨキ」「どろり」「ぬらぬら」という言葉は、③を表現しています。読む人が本当にその場において、自転車のパンク直しを体験しているように感じられます。

(1) 【しょうかい】の中の①に当てはまる言葉として、最もふさわしいものを次のアからエまでの中から一つ選んで、その記号を書きましよう。

- ア いかり      イ こうぶん      ウ あきらめ      エ かなしみ

(2) 【しょうかい】の中の②に当てはまる内ようを、【物語の一部】の中から六文字でぬき出して書きましよう。

(3) 【しょうかい】の中の③に当てはまる内ようとして、最もふさわしいものを次のアからエまでの中から一つ選んで、その記号を書きましよう。

- ア 音や様子      イ 風景や行動      ウ 動きや気持ち      エ 場面やリズム

二 石川さんは、【物語の一部】の中の——線部「これだ!」という言葉に注目し、そのときの気持ちを考えてくわしく書くことにしました。次の【読書カード】の(1)①(1)には五文字、(2)②(1)には四文字の言葉がそれぞれ当てはまります。【物語の一部】の中からさがして書きましよう。

### 【読書カード】

正九郎はそのとき…

※ リムからタイヤをはずして、中に入っているチューブをひっぱり出した。ふう、ここまではうまくいった。

チューブに空気を入れてみた。ふくらんだチューブは、なんてやわらかいんだろう。

さあ、水にくぐらせてみよう。

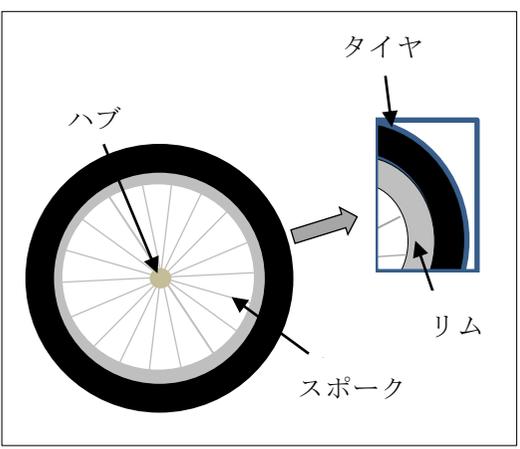
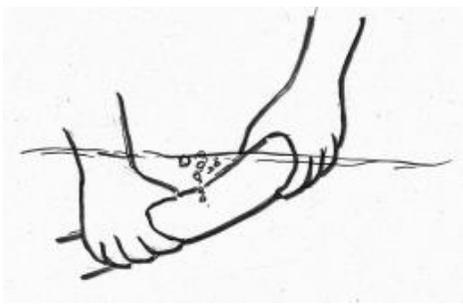
出た。(1)①(1)が出てきた。

「これだ!」

ぼくは、(2)②(1)をさがし当てたうれしさに、

思わずさげんだ。

※ リム…自転車の車輪しゃりんに使つかわれている金ぞくの部分のこと。



1 国語おう用力強化シート かい答用紙

番 名 前 (

)

一

(1)

(2)


(3)

二

①


②


シート1

正答例<sup>れい</sup>

一 (1) イ

一 (2) ゆめのような

一 (3) ア

二 ① 小さいあわ

二 ② 穴の場所

## 8 国語おう用力強化シート

番 名前 ( )

※ かい答は、《かい答用紙》に書きましよう。

田中さんの学級では、身の回りにある問題を取り上げて、学級新聞にまとめています。田中さんは、高れいドライバーについて調べたことを【ノート】にまとめました。次の【資料】と【ノート】を読んで、あとの問いに答えましよう。

【資料】(※1から7までは、だん落番号を表しています。)

1 最近「高れいドライバー」という言葉をよく耳にします。

愛媛県けい察本部のデータによると、この十年間で、県内の交通事こ全体の数はへつていますが、高れいドライバーによる事このわり合はふえているそうです。【表1】

2 愛媛県で運転めんきよを持つ人は、平成二十九年度で約九十三万人です。そのうち、六十五さい以上の高れいドライバーは約二十四万人です。つまり、全部のドライバーの四人に一人が、高れいドライバーだということです。

3 高れいドライバーには心配されていることがあります。それは、高れいになると、歩行者や対向車の発見がおくれたり、急なはんだんがむずかしくなったりして、大きな事こ、大きなけがにつながりやすいということです。

4 このような事こやけがをへらすため、高れいドライバーに、車に乗ることをやめてもらおうという動きが広がっています。しかし、せつかく持っている運転めんきよを返してくださいとは言いがらいいものです。そこで今は、自分から進んで返すという、自主返のうがすすめられています。

5 そうはいつても、ふだんの生活の足として、車を使って病院に行ったり、買い物に行ったりしている高れい者は、運転できなくなると、どこにも出かけられなくなつてまいます。

年	交通事こ 全体の数	高れいドライバーの 交通事この数	高れいドライバーの わり合
H28	4,497 件	1,311 件	29.2 %
H29	4,097 件	1,369 件	33.4 %

【表1】



- 6 自分で運転できなくなったことを不便に感じる高れい者を少しでもへらそうと、愛媛県内の各地いきでは、運転めんきよを自主返のうした人に、さまざまなサービスを行っています。例えば、ある地いきでは、タクシーの利用チケットをおくったり、路線バスに安く乗れるようにしたりしています。また、別の地いきでは、買ったものを家まで配達してくれるサービスも行われています。車で出かけられなくても、重い荷物をとどけてもらえらしたら、高れい者も助かります。
- 7 長い間続けてきた生活を変えるのは、なかなか大変です。運転めんきよを返したことで、高れい者が不便になったと感じるのではなく、反対に、返したことで、安心・安全な生活を手に入れたと考えることができるように、周りの人が協力してささえていかなくはなりません。

【ノート】

《ぎ問》

- 1 高れいドライバーの何が問題になっているのか。
- 2 なぜ、高れいドライバーは、運転めんきよを返すかどうかまよのか。

《ぎ問に対する答え》【資料】から分かったこと《

- 1 ア 愛媛県内の交通事こ全体の中で、高れいドライバーのわり合がふえていること。  
イ 高れいドライバーが起こす事こは、( ① ) こと。
- 2 運転めんきよを返して車の運転ができなくなると、ふだんの( ② ) がなくなってしまうから。

《運転めんきよを返のうした高れい者への取り組み》

各地いきが、さまざまなサービスをしている。  
( 思い ) 運転できなくなったことを不便に感じる高れい者を少しでもへらしたい。

《大切なこと》

高れい者が運転めんきよを返したことで、安心・安全な生活を手に入れたと思えるように、周りの人が協力してささえる。

一 【ノート】の中の(①)に当てはまる内ようとして、最もふさわしいものを次のアからエまでの中から一つ選んで、その記号を書きましょう。

ア 愛媛県内で百万人近くもいる

イ 事こ全体の数と同じで、へってきている

ウ 一年ごとに、ふえたりへつたりしている

エ 大きな事こやけがにつながりやすい

二 【ノート】の中の(②)に当てはまる内ようを【資料】から四文字でさがして書きましょう。

三 田中さんは、「不便」という言葉の意味を国語辞典で調べて、次のことに気づきました。次の(③)に当てはまる漢字二文字を書きましょう。

「不便」とは「便利ではないこと」と国語辞典に出ていました。「不」という漢字は、「くではない」という意味で使われているようです。

「不安」という言葉であれば、「(③)ではない」という意味になると思います。



四 田中さんは、【ノート】の中の□でかこんだ部分の内ようを中心に記事を書くことにしました。そこで、もう一度【資料】を読み返しました。□の内ようについてくわしく書いているだん落を、【資料】の□から□までのだん落の中から一つ選んで、そのだん落番号を書きましょう。



8

国語おうち用力強化シート かい答用紙

番号前（

）

一

二

<input type="text"/>
<input type="text"/>
<input type="text"/>
<input type="text"/>

三

<input type="text"/>
<input type="text"/>

四

シート8

正答例<sup>れい</sup>

一  
エ

二  
生活の足

三  
安心

四  
6



一 イ ・ オ

二 (現役の) ボランティアガイドだから  
地域のことをくわしく知っている人だから  
とても親切な人だから



ふりがえりテスト【フォローアップシート】 2 正答例

㊦ 正面の人の名前を当てる・分かったところを答える など

㊦ 七色が浜をもつときれいにする事 など

七色が浜が世界中の海岸とつながっていることを多くの人に伝える事 など



ふりがえりテスト【フォローアップシート】 3 正答例

- 中学生のころ、家の近所の森や林に、名前が分からない虫がいた など
- A まどを開け、空気の入れかえをして・まどを全開にし、空気を入れかえて など
- B つる性の植物で緑のカーテンを作る・アサガオなどで緑のカーテンを作る  
まどの外に、つる性の植物を植える・まどの外に、アサガオなどを植える など

ふりがえりテスト【フォローアップシート】 1 正答例と解説

一 イ ・ オ

二 (現役の) ボランティアガイドだから  
地域のことをくわしく知っている人だから  
とても親切な人だから

〈二を解くときのポイント〉

- ・文章の構成を見て、「二つめは」「三つめは」「三つめは」となっていることに注目しましょう。
- ・理由を示すときには、「〜(だ)から」や「〜ので」という言葉がよく使われます。



ふりがえりテスト【フォローアップシート】 2 正答例と解説

一 正面の人の名前を当てる・分かったところで答える など

二 七色が浜をもつときれいにすること など  
七色が浜が世界中の海岸とつながっていることを多くの人に伝えること など

〈二を解くときのポイント〉

- ・〈問い〉の中の「今後行いたいこと」という言葉に対応する言葉が文章中にあります。それは、「これから先」という言葉です。
- ・また、〈問い〉の「行いたい」という言葉が、文章中の「〜ていきたい」という表現と対応します。



ふりがえりテスト【フォローアップシート】 3 正答例と解説

一 中学生のころ、家の近所の森や林に、名前が分からない虫がいた など

二 A まどを開け、空気を入れかえをして・まどを全開にし、空気を入れかえて など  
B つる性の植物で緑のカーテンを作る・アサガオなどで緑のカーテンを作る  
まどの外に、つる性の植物を植える・まどの外に、アサガオなどを植える など

〈二を解くときのポイント〉

- ・Aは、「まどを全開にして、部屋の空気を入れかえをして」の部分、Bは「アサガオやゴーヤのようなつる性の植物を植えて、緑のカーテンを作っています」の部分から、まずは「これは絶対に必要だ」という言葉を選びましょう。そして、次に指定された字数にまとめるために、表現を工夫しましょう。

